

ずいそう

## 『私の柔道，世界大会』



杉本美香

コマツ女子柔道部の杉本美香です。昨年私は世界柔道選手権 2010 東京大会で日本人初の2階級制覇をさせていただきました(78kg 超級と無差別級)。世界ランク 22 位だった私は、参加選手の誰からもマークされていなかったの、初日は勝つことだけを考えて試合に臨みました。1 回戦、2 回戦を順調に勝ち上がり 3 回戦は 2 メートル近くある中国の選手でした。私の身長が 166 センチだから、30 センチ以上差があり、あまりにも大きくて組むことが出来ませんでした。今までこの選手には勝つことが出来ていませんでしたが、今回は思い切って内股を掛けたらきれいに決まり 1 分 6 秒で一本勝ち。このあたりから『今日はいけそう!!!』と思いました。

準決勝からはキューバのベテラン選手、開始 35 秒で一本勝ち、自分でも信じられないくらい技が冴えまくっていました。

いよいよ決勝戦、相手の中国の選手は私の奥襟を取って頭を下げさせて反則狙いの戦法で、自分の柔道が出来ない。相手と組み合っているのが日本柔道、私は無我夢中で組み合う姿勢を取ろうと攻め続けた結果、相手に「指導」が 4 つ重なり、私の一本勝ちになり世界大会で 1 つ目の金メダルを取る事が出来ました。

続く無差別級の試合は大会の最終日に行われました。今度はさすがに一本勝ちはなかなかさせてもらえませんでした。既に相手選手に私の技を研究されていたようで 2 回戦、3 回戦はかろうじて優勢勝ち、準々決勝と準決勝は一本勝ち、決勝は 78kg 超級決勝で勝った中国の選手でした。「ここまで来たら負けるわけにはいかない。」自分の中にある力を全部出し切って試合をして、相手から有効を奪うことができ、そのまま時間切れで試合終了。2 つ目の金メダルを取る事ができ、日本人初の 2 階級制覇となりました。このときは、会社の応援して下さった方々や友達、恩師始め街行く知らない方々からも祝福をいただきました。このような大きなタイトルを取る事が出来ましたが、ここまで来るのに大きな試練が数々ありました。怪我に泣いてきました。柔道人生が終わりになるような怪我による試練、大切な時期に決断しなければならなかった手術、術後の焦る気持ちや、本当にもう一度世界の舞台

で戦えるのか…心が折れそうになっていました。そういう時期を乗り越えてこの優勝は私を応援して下さい、世界の舞台で戦える身体に戻して下さいの方々に、私から、勝ってお礼が出来たかと思います。

一瞬で想像外のことが起こった 3 月 11 日の東日本大震災、私も小学生のとき阪神淡路大震災を経験し、余震の恐怖におののき、2 階に上がって自分のベッドで眠れるのに 3 ヶ月かかりました。早く普通の生活が出来ようになり、泣く数より笑う数が増えて欲しいと願っています。そして、2 階級制覇から 1 年経った今年、パリで世界大会が開催されました。今回は 78kg 超級の参加でした。1 回戦から 3 回戦まで順調に一本勝ち、準々決勝は今まで勝てなかったロシアの選手、今回は何としても勝ちたい相手でした。集中力が途切れないように試合を運び、優勢勝ちしました。次の準決勝は去年の決勝の中国の相手。昨年とまったく同じ奥襟ばかりを取ってきて柔道になりません。隙を狙われ負けてしまいました。もっと集中力をつけなければいけないと反省しています。負けてしまって 3 位決定戦、今度は日本人対決になりました。相手とは手の内を知り尽くした仲なのでやりにくかったですが、優勢勝ちで銅メダルをもらいました。今回のパリ世界柔道選手権大会は、さすがに私の技を研究されていて、自分の組み手が出せず技も出せず心の弱さも出てしまいました。

そして、これまでの私の柔道は『人』によって活かされてきました。大きく丈夫に産んでくれた母、温かく見守り心の支えになってくれた家族、柔道の基本を教えてくださった先生方、監督始め海外に行っても応援に駆けつけてくださる世界中のコマツの方々、治療して下さった先生方や看護師の方々、同級生はじめ先輩諸氏や後輩たち、皆さんに育てていただいたお陰で今の自分があります。このご恩は暈の上でお返ししようと思います。今の私ができること、目指す 2012 年ロンドンオリンピックに出場できてメダルを取ることでご恩返しして、明るい話題を皆さんに提供しようと思います。